

教育情報化支援室 ICT 通信

- さがすたいる - 令和元年度版

2020.3.23

佐賀県内の小中学校の
取組を紹介します - **Vol.1**

令和元年度教育情報化推進リーダー研修
における授業公開より

好きな国を持ち歩く ~タブレットで即席大使に~

小

5年 外国語活動 「紹介しよう！行きたい国！Unit6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域」



ICT 利活用のポイント



- 動画の活用
 - ・前担任の動画を電子黒板に投影し、英語表現を使ったインタビューを疑似体験させる。
- タブレットの活用
 - ・紹介したい国の国旗や風景、食べ物などを見せながら話せるので、安心感が増し、コミュニケーションが促進する。

参加者の声



- 写真があることで、うまく英語が話せなくても何とかして伝えようとしていた。
- 子どもたちの「伝えたい」という思いに寄り添うツールとしてタブレットは効果的である。
- 子ども達が主体的に活動できるしかけがたくさんあって勉強になった。
- 調べ学習など他の教科にも応用ができそう。

頼れるマルチメディア ~電子黒板はもう一人の先生~

中

2年 英語「Unit5 Universal Design」



ICT 利活用のポイント



- 動画の活用
 - ・英会話のモデルとなるネット上の動画を電子黒板に投影し、英語を使う雰囲気を高めていく。
- プレゼンテーションソフトの活用
 - ・基本文型や関連画像をテンポよく電子黒板に提示することで、文法事項の説明や口頭練習をスムーズに行える。

参加者の声



- タイマーやデジタル教科書、プレゼンテーションソフト、インターネットなど、生徒が興味をもつようなものをたくさん入れた授業であった。
- 場面、場面での ICT の活用がとてもよかった。生徒たちが最後まで集中して、真剣に臨んでいて、とても素晴らしかった。
- まずは自分自身が活用したい。

<はじめに>

佐賀県の ICT 利活用教育のモデル的人材である「教育情報化推進員」の方々の中から、小中学校合わせて 8 名の先生方に授業を公開していただきました（教育情報化推進リーダー研修会にて）。目からウロコ、どれも今ある環境を最大限に生かした素晴らしい授業ばかりでした。紙面にて授業の概要を紹介させていただきます。

協働的な学びに生かす ~デジタル保存で自由自在~

中

2年 理科「電流と回路」



ICT 利活用のポイント



- 教育用サーバの活用
 - ・実験時に取り組んだ板書の内容や、グループで話し合って書いたホワイトボードなどを画像等で残し、ふり返りや復習、学び合いに役立てる。
- タブレットの活用
 - ・必要な画像を取り出して説明したり、画面に直接書きこんだりしながら学びを深める。

参加者の声

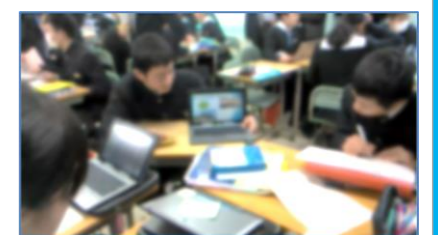
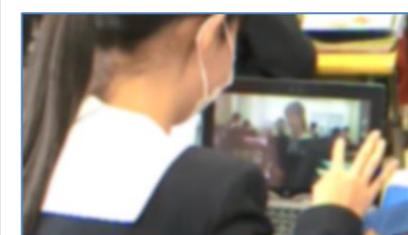


- 思考ツールの一つとして、タブレット端末の活用は有効。
- 前時の板書など、必要なことを生徒自身が撮影する取組は、自分の学級でもやりたい。
- 机上の整理がなされるので、支援が必要な子のことを考えるとよい配慮になる。
- わからない子や休んだ子への対応ができる。

表現を磨き上げる ~ICT 利活用が支える深い学び~

中

3年 英語「修学旅行プロジェクト~Awesome Places in Saga・Awesome Places in Kyoto~」



ICT 利活用のポイント



- 動画の活用
 - ・録画された自身の映像を見ることで、パフォーマンスをより客観的に自己評価できる。
- プレゼンテーションソフトの活用
 - ・「スピーチを生かすプレゼンテーション」をねらいに、画像やアニメーションの挿入、効果的な画面の切り替えなどについて考える。

参加者の声



- 一人1台のタブレットを使うことで、生徒がより能動的に学習できていた。
- 読むだけではなく“プレゼンテーション”になっていた。
- ICT 機器が前面に出るのではなく、授業のツールの一つとして自然に使われているところに、ICT 利活用教育の成熟を感じた。

教育情報化支援室 ICT 通信

- さがすたいる - 令和元年度版

2020.3.23

佐賀県内の小中学校の
取組を紹介します - **Vol.2**

令和元年度教育情報化推進リーダー研修
における授業公開より

もっと伝えたくなる ~タブレットに想いを詰め込んで~ **小**

白石町立白石小学校 喜多 千鶴 教諭 2019.12.12
4年 外国語活動「Unit8 This is my favorite place.」



ICT 利活用のポイント

- **タブレットの活用**
・手に画像等があることで英語表現への不安を軽減させることができ、やり取りを繰り返すことで主体的な活動へとつながっていく。
- **プレゼンテーションソフトの活用**
・プレゼンテーションソフトによる資料作成によって、伝える内容が整理されより明確になる。

参加者の声

- 子ども達が英語に親しんで、積極的に会話している姿が印象的だった。
- 写真を見せながら色を言ったり、味を伝えたり、いろいろな英単語を伝えようとしていた。
- 中間評価とそれを授業の中で解決していく授業展開がとても参考になった。タブレットの活用が上手くできていたと思う。

動きを見える化 ~プログラミングで視覚支援~ **小**

6年 算数 (プログラミング)「変わり方を調べて (1)」



ICT 利活用のポイント

- **ビジュアルプログラミング言語 (Scratch) の活用**
・追いつき算で、二人の差が一定量ずつ縮まっていく様子を、キャラクターの動きで再現する。
- **タブレットの活用 ※Chromebook**
・一人1台環境を用意し、自分が思うとおりにプログラミングし、思考と検証を繰り返すといった活動の機会を保障する。

参加者の声

- 問題場面を視覚的にとらえることができていた。また、そのために、プログラミングで場面を構成することで、論理的に思考することができていたと思う。
- 子ども達があれこれ言いながら数値を入れたり、ブロックを動かしたりするところがとてもよかった。

<お知らせ>

令和2年度も授業公開を実施します。対象は、各学校の教育情報化推進リーダーのほか、希望する方はどなたでも参加できます。詳しくは改めてお知らせします。
アクティブラーナーをテクノロジーが支える時代へ。令和のスタンダードについて一緒に考えてみませんか？ みなさまの参加をお待ちしています。

ありがとうをかたちに ~楽しいゲームをプログラミング~ **小**

6年 総合的な学習の時間 (プログラミング)「ありがとうプロジェクト ~感謝の気持ちを伝えよう~」



ICT 利活用のポイント

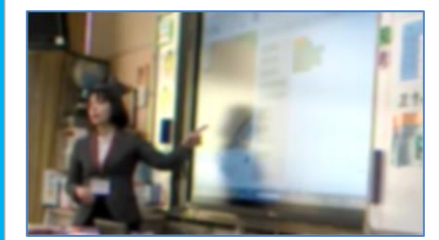
- **ビジュアルプログラミング言語 (Scratch) の活用**
・ベースとなる素材を ICT 支援員の方に紹介してもらいながら、“下級生が楽しめる”プログラムを試行錯誤する。
- **タブレットの活用**
・タッチパネルでの操作に慣れているため、自分が意図した動きを実現させやすい。

参加者の声

- タイルへの条件設定理解度の違いを、子ども達が教え合っているのがとても印象的だった。
- 他者の作品をカスタマイズして作るという考え方は、いろいろ応用が利くと思った。
- 目的意識をもって活動できていたので、子ども達が積極的であった。
- 試行錯誤しながらよく話し合いができていた。

論理的思考を助ける ~ツールとしてのプログラミング~ **小**

5年 算数 (プログラミング)「正多角形と円周の長さ」



ICT 利活用のポイント

- **ビジュアルプログラミング言語 (プログル) の活用**
・児童の扱いやすさを重視し、Scratch より選択肢の少ないプログルを使用する。
- **タブレットの活用**
・ネット接続が必要であり、安定した動作環境を担保するため、二人に1台とする。二人で協力しながら課題解決に向かう。

参加者の声

- 数学的にもプログラミング的にも授業のめあてが達成されていた。
- 初のプログルにもかかわらず、失敗から課題を見つけるところを45分でできていた。
- プログラミング教育は、目的ではなく手段ととらえることが大切だとあらためて思った。
- 図形の学習の進め方が理解できた。